

## 総合スポーツゾーンにおける既存施設の課題について

(No.1)

施設名	整備年	施設の概要	年間利用者数 (過去3年平均)	課題
陸上競技場	昭和54年 (築34年)	◇種別 第1種公認陸上競技場B ◇施設 (敷地面積 33,300 m <sup>2</sup> ) ・トラック 1周 400m、直走 130m 9レーン ・フィールド 走幅跳、棒高跳、投てき競技等 ◇観客収容人員 24,000人	80,910人	◆補助競技場に改修 (第3種公認陸上競技場基準に適合) ➤耐震化への対応 ➡ ・既存建物を耐震工事、有効活用 又は ・既存建物を撤去、管理棟を新設
補助競技場	昭和52年 (築36年)	◇種別 第4種公認陸上競技場 ◇施設 (敷地面積 17,500 m <sup>2</sup> ) ・トラック 1周 300m 6レーン ◇付属施設 器具庫、更衣棟	54,251人	◆廃止 ➡ 敷地の有効活用 (駐車場、バスの転回場等)
硬式野球場	昭和54年 (築34年)	◇施設 (敷地面積 21,100 m <sup>2</sup> ) ・本塁センター間: 122m、両翼本塁間: 98m ◇観客収容人員 15,365人	56,296人	➤耐震化への対応 ➤施設の老朽化 (座席、内装、給排水設備等) ➤バリアフリーが不十分 ➤夜間照明
水泳場	昭和54年 (築34年)	◇施設 (敷地面積 11,000 m <sup>2</sup> ) ①公認 50m 競泳プール 水深 1.5m 9コース ②公認 25m 競泳プール 水深 1.15m 7コース ③公認飛び込みプール 水深 5m ◇観客収容人員 メインスタンド 1,000人 ◇付属施設 管理棟、更衣棟	18,066人	➤施設の老朽化 (プール槽、配管、管理棟、更衣棟等) ➤観客席の不足 (国体を開催する場合) ➤水球競技・シンクロ競技への対応
トレーニングセンター	昭和54年 (築34年)	◇施設 (敷地面積 2,465 m <sup>2</sup> ) ・アリーナ 面積 1,330 m <sup>2</sup> ・トレーニング室 面積 230 m <sup>2</sup> ◇観客収容人員 700人 ◇付属施設 事務室、医務室、器具庫、更衣室等	52,105人	➤施設の老朽化 (建物全体) ➤設備の老朽化 (トレーニング機器) ➡ ・アリーナ機能は、新たに整備する体育館で代替 ・トレーニング機能は、新たに整備する陸上競技場兼サッカー場又は体育館で代替

◆ 検討委員会における検討結果    ➤ 課題    ➡ 想定される対応等

施設名	整備年	施設の概要	年間利用者数 (過去3年平均)	課題
合宿所 (管理棟3階)	昭和48年  (築40年)	◇施設(3階部分 床面積731㎡) ◇収容人員 102人 (合宿室8人×12室、指導者室3人×2室)	1,472人	➤設備の老朽化(ベッド、空調、衛生、給排水設備) ➤利便性・快適性の向上(1室8人部屋、全和式トイレ等)
軟式野球場  [A・B球場]	昭和47年  (築41年)	◇施設(敷地面積30,000㎡) ・本塁センター間:115m、両翼本塁間:91m	37,546人	○現時点では特段の課題なし
軟式野球場  [C球場]	昭和53年  (築35年)	◇施設(敷地面積22,500㎡) ・規格はA・B球場と同じ		
テニスコート	平成2年  (築23年)	◇施設(敷地面積21,000㎡) ・全天候型砂入り人工芝 16面 ◇観客収容人員 盛土芝張スタンド1,500人 ◇付属施設 更衣棟・会議室	59,868人	○現時点では特段の課題なし
球技広場	昭和33年  (築55年)	◇施設(敷地面積15,000㎡) ・多目的運動広場(シンダーコート) ・ソフトボール2面、軟式野球1面、サッカー1面など	31,687人	○現時点では特段の課題なし
サッカー・ ラグビー場	平成元年  (築24年)	◇施設(敷地面積66,800㎡) ①サッカー 68m×102m 2面 68m×105m 兼用(ラグビー) 1面 ②ラグビー 68m×144m 1面 ◇付属施設 管理棟、更衣棟	13,392人  サッカー 10,352人 ラグビー 3,040人	○現時点では特段の課題なし
相撲場	平成8年  (築17年)	◇施設(敷地面積2,826㎡) ◇観客収容人員 602人 ◇付属施設 練習場、浴室、シャワー室等	1,547人	○現時点では特段の課題なし